

令和5年度 指定管理者の管理運営に対する年度評価シート

施設概要			
施設名	山寺芭蕉記念館		
指定管理者（選定方法）	公益財団法人 山形市文化振興事業団（選定方法：非公募）		
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		
利用料金制導入の有無	有		
施設所管課	文化スポーツ部文化創造都市課		
評価			
評価の区分	S	協定書、仕様書どおりに実施され、計画や目標を上回る実績（効果）があった場合	
	A	協定書、仕様書どおりに実施され、概ね計画や目標どおりの実績（効果）があった場合	
	B	協定書、仕様書どおりに実施されたが、計画や目標を下回る実績となるなど（効果が少ない場合を含む）、改善を要する必要がある場合	
	C	協定書、仕様書どおり実施されなかった場合	
	—	評価項目が該当しない	
評価区分	評価項目	評価ポイント	評価
管理運営の状況	人員配置	人員配置は過不足なく適切に行われたか	A
	有資格者の配置	必要な有資格者の配置は適切に行われたか	A
	資質向上	職員の資質向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	受付・接客	接客向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	平等利用	特定の利用者を有利または不利に扱うことなく、取り扱いが適切に行われたか	A
	利用者サービス向上	利用者サービス向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	広報	利用者への広報は情報提供として適切に行われたか	A
	備品・建物等の管理	備品・建物等の財産の管理は適切に行われたか	A
	安全対策	利用者の安全確保の取り組みは適切に行われたか	A
	危機管理	緊急時に備えての研修・訓練等は適切に行われたか	A
	事故・苦情の対応	事故・苦情に対する対応は適切に行われたか	A
利用の状況	開館日数	開館（日数）は適切に行われたか	A
	開館時間	開館（時間）は適切に行われたか	A
	利用人数	利用人数は目標を達成したか	B
事業実施の状況	実施回数	実施回数は目標を達成したか	A
	参加者数	参加者数は目標を達成したか	A
	事業内容	事業の内容は施設の設置目的にあう適切なものであったか	A
満足度の調査	利用者満足度の把握	アンケート等を実施して利用者満足度の把握は適切に行われたか	A
	利用者満足度向上	アンケート結果等により利用者満足度向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
維持管理の状況	清掃（日常）	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	清掃（定期）	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検（日常）	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検（定期）	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保安警備	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	修繕等維持管理	修繕等は適切に行われたか	A
収支の状況	利用料金	利用料金は目標を達成したか	B
	利用料金の収受	利用料金の収受は規定の料金を適正に収受するなど適切に行われたか	A
	利用料金の減免	減免の申請手続がなされた場合、処理は適切に行われたか	A
	経費の縮減	経費縮減についての取り組みは適切に行われたか	A
	収入の増加	収入増加についての取り組みは適切に行われたか	A
総括評価			
令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類へ移行したことにより人々の動きが回復傾向に向かうとともに、インバウンドの影響により観光客が増加した年であった。 山寺芭蕉記念館においては、芭蕉の影響が続いた江戸時代を振り返る機会とする特別展や、山寺の四季折々の自然の魅力あふれる景観を描いた絵画を展示するなど、入館者の回復に向けた展示を行ったことは評価できる。しかし入館者数において、前年度の入館者数を上回ったものの、年間入館者数が目標値を大幅に下回ったことは残念である。今後は、これまでの企画をブラッシュアップするとともに、新たに大人も子どもと一緒に楽しめる企画や、リピーターの増加を図れるよう魅力的な企画に積極的に取り組み、入館者の増加、満足度向上につなげてほしい。 広報については、ホームページやSNS、新聞等のメディアを効果的に活用し、積極的な情報発信やPRに努めていることは評価できる。山寺芭蕉記念館の収蔵品の魅力と山寺という立地の特性を活かし、更なる情報発信による知名度アップと誘客につなげていくことを期待する。			